



病院NEWS

no. 369
2015
03/01



The Hospital News.Faculty of Medicine Kagawa University



香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 横見瀬 裕保

退任にあたって

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授 森 望



香川大学医学部附属病院には、香川医科大学当時の昭和62年11月から耳鼻咽喉科副科長を、平成7年4月から耳鼻咽喉科科長を務めまして、今年度で退任することになりました。科長として20年間、副科長として約7年間、勤務させていただきました。この27年間で医療を取り巻く状況も大きく変わり、退任を迎えるに当たり振り返ってみますと、その変化に大変、感慨深いものがあります。

附属病院開院時から酒井俊一前教授が初代科長として、耳鼻咽喉科診療の基礎固めをされ、その後、2代目科長として、地域の中核病院として、耳鼻咽喉科での各分野における専門診療を確立し、さらに充実させるため、診療スタッフとともに努力してきました。前科長の頃からありました耳科外来、鼻科外来、腫瘍外来、言語外来に加え、音声嚥下外来、睡眠時無呼吸外来、幼児難聴外来、耳鳴外来、人工内耳外来、嗅覚外来の専門外来を立ち上げ、専門診療の充実に努めてまいりました。現在では香川県内のみならず、近隣県からの皆様のご要望にもお答えできるようになっています。診療領域が理解しやすいように、耳鼻咽喉科から耳鼻咽喉科・頭頸部外科へと診療科の名称変更を行いました。

科長に就任しました頃の紹介率は20%~30%とまだ低かったのですが、地域医療機関との連携が充実するのに伴い約10年前から徐々に増加し、現在では70%前後になっています。この数字は地域医療機関からの信頼が得られてきた証拠だと思っています。今後、3代目科長の下、香川県内の耳鼻咽喉科診療の中核病院として、更なる医療の質向上を目指してもらいたいと思っています。長い間、大変、ありがとうございました。

安全で適正な輸血医療の実践

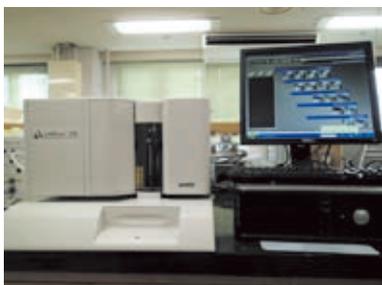
輸血部 部長 窪田 良次

平成26年10月1日付けで香川大学医学部附属病院・輸血部長を拝命いたしましたのでご挨拶申し上げます。

輸血部は特殊診療施設のひとつとして院内における輸血業務を一元管理しております。近年、献血者の減少による輸血用血液製剤の不足や血液型不適合輸血などの輸血事故などが問題となっております。当院には、専門知識を持った日本輸血・細胞治療学会認定の医師、臨床検査技師および看護師がおり、24時間安全な輸血が実施できる体制ができております。輸血オーダーリングシステムおよび輸血実施時の認証システムの導入、輸血検査の自動化、輸血検査や輸血実施時におけるダブルチェックの実践などにより、血液型不適合輸血などの輸血事故は発生しておりません。

安全な輸血として知られている自己血輸血（術前に採取・保管した血液を周術期および術後に輸血する）も主に待機的手術患者を対象に実施しております。

近年、移植関連業務も重要な業務になっております。造血幹細胞の処理・保管や検査（採取時期を決定するためのHPC測定やCD34陽性細胞測定）などの造血幹細胞移植関連の業務と腎移植などの臓器移植患者とドナーの適合性を調べるためのフロークロスマッチ（フローサイトメーターを用いたドナーリンパ球と患者血清のクロスマッチ）および抗HLA抗体スクリーニング（ルミネックス；写真）などの臓器移植関連検査を行っております。



各科の代表からなる輸血療法専門委員会において輸血の安全性や適正使用、輸血業務全般に関する重要事項を審議決定し、安全で適正な輸血医療に勤めてまいりたいと考えております。今後ともご指導・ご支援を頂きますようお願い申し上げます。

早期発見・的確診断・個別化治療

乳腺内分泌外科 科長 紺谷 桂一

乳がんは女性悪性疾患で最も多い疾患ですが、その診断治療技術の進歩により4人のうち3人は完治することができます。香川大学医学部乳腺内分泌外科での乳がん診療に対する取り組みは、①乳がんを早い段階で発見する、②正確な拡がり診断をする、③個々の患者様に応じたテーラーメイド治療を提供することです。早期発見には乳房内微小病変を見つけることが必要になります。当施設では高精度マンモグラフィ、超音波断層装置を用いて数ミリの腫瘍や石灰化病変でも確定診断をつけることが可能です。診断後は乳房内病変の拡がり診断を行います。乳房MRI検査は拡がり診断に大変重要な検査法であり、主腫瘍以外に他病巣はないか、腫瘍から伸びる乳管内病変はあるのか、あればどこまで広がっているかなどかなり正確に検出することができます。乳房温存手術を行えば大きく整容性を失うことはありません。しかし全摘術の場合乳房喪失という悲しい現実を受け止めなければなりません。当院では2010年4月に乳がん治療・乳房再建センターが設立され、それ以来乳房全摘・乳房再建術が積極的に行われるようになりました。乳房再建では病変の部位、乳房の大きさ、形、下垂の程度などによって自家組織（腹筋、背筋）あるいは人工物シリコンを使用するかが決まります。手術後には切除組織を用いて組織・蛋白・遺伝子検査が行われます。その結果将来の再発率、有効な治療法（抗癌剤、ホルモン治療、分子標的治療）に関する情報がわかります。このように病気の進行度、拡がり、腫瘍形質や性質によって薬物治療の種類、手術法が個別に決まります。

早期発見・早期治療は乳がん死亡率低下に直接関与しており、正確な拡がり診断は手術法選択と局所再発低下に必要であり、テーラーメイド薬物治療は不要無効な治療を回避し有効確実な治療を行う上で大変重要であると確信しております。

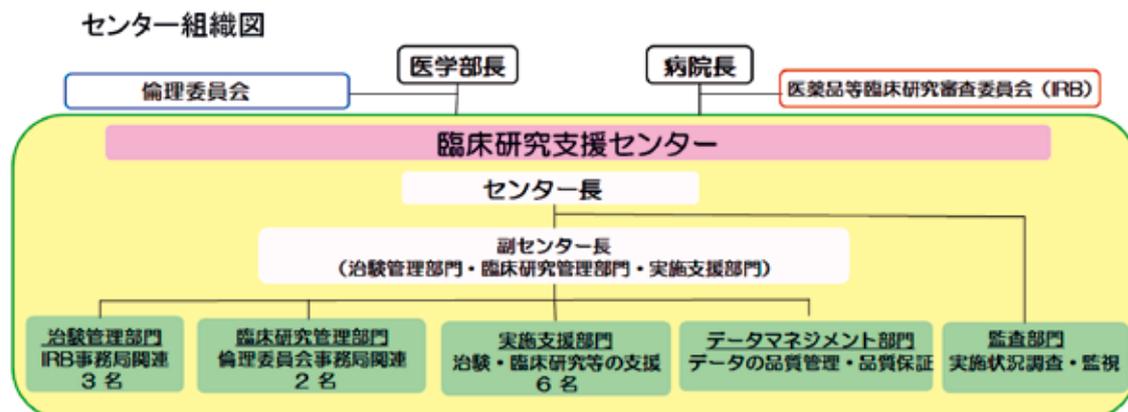
臨床研究支援センターの開設について

臨床研究支援センター長 横井 英人

医薬品・医療機器・医療技術の開発、更には医学そのものに於いて、臨床研究は欠くべからざる物です。しかし、これまでその運用体制については残念ながら不十分であったと言わざるを得ません。種々の報道があったとおり、いくつもの臨床研究で、データの改竄など不正な研究実施がなされていることが明らかになりました。不正があれば、効果のある薬を飲まずに効果の少ない薬を飲むことになる可能性がある他、発症しなくてもよい副作用に苛まれるということが起こりえます。そういう事態は絶対にあってはならないことで、医療機関は厳に自らを戒め、適切な臨床研究を行う体制を整えることが求められています。そのような昨今の情勢を受けて当院でも、旧来の治験管理センターを臨床研究支援センターとして改組し、その業務内容の充実を図ることとなりました。

我々は従来、製薬会社などからの治験（薬事申請を前提とした臨床試験）依頼に対してのコーディネートを主たる業務としていましたが、これに加えて医師が計画した臨床研究についても、その支援を行うこととしました。具体的には治験に対して行っていたようなコーディネート業務を行い、被験者の方々が安心して臨床研究に参加できるようにいたします。また、臨床研究計画の立案時から、より有効な研究を行うための専門的助言を行えるように、統計の専門家らを配置することとしております。

人員や体制の充実には今しばらく時間がかかりますが、先進的な医療を担う大学病院として、また医学の発展をリードする大学医学部として、信頼を受けられる研究体制を構築して同センター職員一同が気持ちを新たにしているところです。同センターの今後にご期待下さい。



四国新聞の記事転載について、ホームページでの公開の許諾期間を過ぎたため、転載記事を除きました。

(四国新聞に転載について許諾済)

イキイキさぬき健康塾 -香川大学病院と最新医療-

「女性のおしこの悩み、一挙に解決」

笑ったり、くしゃみをした瞬間、「しまった!」と思った経験はありませんか?

平成27年**3月28日(土)** 11:00~12:00

丸亀町レッツホール 高松市丸亀町1番地1 高松丸亀町壱番街東館4階

講師:泌尿器・副腎・腎移植外科 平間 裕美 助教

参加費無料、事前申込不要 問合せ先:総務課 電話:087-891-2008(平日9時~17時)

病院駐車場の整備について

管理課

本院では、病院来院者への駐車場不足の解消と安全性向上のため、平成25年6月から駐車場の管理運営を全国で数多く手懸け、サービスノウハウを持つアマノマネジメントサービス株式会社に外部委託し、有料化させていただきました。今年度、その収益をもとに来院される患者さんやお見舞の方の安全性と利便性の向上のため、以下の事業を実施させていただきます。

今後とも、質の高いサービスの提供に努めてまいりますので、ご理解とご協力よろしくをお願いいたします。

- お見舞の方の駐車料金を、30分無料から1時間無料に時間延長
- 駐車場内に車椅子・カート置き場を設置
- 駐車場内の一部舗装とライン引き、歩道のスロープを整備
- 駐車場内に太陽光発電式防犯灯を14台設置
- 駐車場内にある外灯9基のガラスカバーを照度の高いものに交換
- 駐車場とベオニーコート間の横断歩道付近に照明設備を設置



▲車椅子・カート置き場



▲照明設備及び歩道のスロープ



▲太陽光発電式防犯灯



▲一部舗装

臨床研究に関するご案内

医学部倫理委員会委員長
医薬品等臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織（内視鏡検査で検査のために採取した組織等）又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究（研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究）に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究（過去の事象について調査する研究）の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

●臨床研究に関するご案内URL <http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

イベントカレンダー H27.3月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
3/1	13:30~16:00	三木町文化交流プラザ	耳の日記念講演会	耳鼻咽喉科学	(087)891-2214
3/3	(未定)	臨床講義棟2F	香川県がん診療連携拠点病院研修セミナー「放射線療法に関する研修会」	中核病院機能強化支援室	(087)891-2452
3/9	(未定)	臨床講義棟2F	第7回認知症疾患医療センター研修会	中核病院機能強化支援室	(087)891-2452
3/15	13:30~16:00	かがわ国際会議場高松サポート2-1 シンボルタワータワー棟6階	肝臓病 市民公開講座	肝炎就労相談窓口	(087)891-2468
3/20	18:30~20:30	病院地下1階 カンファレンスルーム	平成26年度 退院支援連携の会	地域連携室	(087)891-2417
3/20	14:00~16:00	病院地下1階患者図書室 オリーブの郷	がん患者サロンセミナー	がん相談支援センター	(087)891-2473
3/28	11:00~12:00	丸亀町レッツホール高松市丸亀町1番地1 高松丸亀町老番街東館4階	医療セミナーイキイキさぬき健康塾 -香川大病院と最新医療-「女性のおしこの悩み、一挙に解決」	総務課	(087)891-2008

看護職員募集

中途採用者随時募集

助産師・看護師免許を有し、夜勤が可能な方

お問い合わせ先 087-891-2320(看護管理室)

編集委員会 (50音順)

荒井(検査)、一條(経営)、岡田(総務)、
加藤(放射線)、白神(麻酔)、中妻(看護)、
濱本(外来)、芳地(薬剤)、松本(看護)、
村上(病棟)、安友(管理)、横井(情報)、
吉野(医事)
〔委員長 横見瀬病院長〕